



二十六聖人

日本二十六聖人殉教者



聖ペトロ・バプチスタ

11. スペイン人フランシスコ会員 48歳。日本に来る前10年間フィリピンで働く。1593年秀吉に謁見し宣教の許可をえて都で3年余り伝道する。その後「天使の元后教会」（聖母マリア教会）を建立。サン・フェリペ号事件で捕縛される。

日本二十六聖人殉教者



ひしようてん
被昇天の聖マルチノ

12. スペイン出身。30歳。貴族出身で、18歳でフランシスコ会に入会。メキシコ、フィリピンを経て1596年の春、日本へ。大阪の修道院長に任命。大阪で捕縛。十字架上での最後の時、「主よ、わが魂をみ手にゆだねます」と大声で叫んだ。

巻頭言：お言葉どおり

ぶどう酒が足りなくなったので、母がイエスに、「ぶどう酒がなくなりました」と言った。イエスは母に言われた。「婦人よ、わたしとどんなかわりがあるのです。わたしの時はまだ来ていません。」しかし、母は召し使いたちに、「この人が何か言いつけたら、そのとおりにしてください」と言った。【ヨハネ 2, 3~5】

10月となり、教会は「ロザリオの月」を迎えました。子供の時、ロザリオについて聞いた話があります。それは、「イエス様に何か願いたいことがあるとき、勿論、直接に願うこともできる。でも、聖母マリアを通して祈り願うなら、もっと効果がある。なぜなら、聖母マリアはイエス様の唯一の母親だから。その聖母マリアへの祈りの中でも、一番効果的な祈りが、まさにロザリオである」という話でした。まるで、聖母マリアにせがんで、自分の願いを叶えていただくという意味でしょう。

聖母マリアの人生は一言でどういう風にまとめられるでしょうか。それは、ガブリエルとの出会いの時、マリアが言った、「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身



イスラエルのカナの婚礼教会の祭壇。イエス様が水がめ6個を満たすように仰ったことにちなみ、祭壇には6個の水がめが捧げられています。

に成りますように。」という言葉だと思えます。この言葉によって、おとめマリアは救い主の母マリアとしての人生の道を歩み始めました。つまり、この言葉はマリア自身の人生のキャッチフレーズのようなものだったのです。

しかし、その聖母マリアの道は、とても辛く苦しい道でした。でも、聖母マリアは様々な苦しみと悲しみを、「お言葉どおり、この身に成りますように」という精神を持って乗り越えました。そう考えたら、この言葉は聖母マリアの信仰と希望、愛を表している気がします。救い主の母となるのを信じ、それをひたすら望み、それで神様への愛を告白したでしょう。そこで、聖母マリアは信仰者の信仰と希望、愛を支えてくださる方とも言えるわけです。

その聖母マリアが救い主イエス様に初めて願ったのは何でしょうか。それは、カナの婚礼で、ぶどう酒が足りなくなって困っている新郎と新婦を助けることでした。その時、聖母マリアの願いは拒まれるようでしたが、それでも召し使いたちに、「この人が何か言いつけたら、そのとおりにしてください」と言いました。「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」という言葉と同じでしょう。その言葉によって、召し使いたちは婚礼の召し使いでなく、主の召し使いとなったわけです。聖母マリアはわたしたちもそうなることを望んでおられます。これこそが、信仰者が祈り願うべき恵みでしょう。この一ヶ月の間、ロザリオを通して、そういう恵みを祈り求めることができれば幸いと思えます。

主任司祭 ヤコブ 姜 真求

第1回 二俣川教会献堂 60 周年記念企画

— 教会の歩みを振り返ろう —

カトリック二俣川教会は1964年（昭和39年）に来日し、保土ヶ谷教会で司牧されていたフランス人司祭、プラド会のジョセフ・ドバール神父が、遠方から子どもを抱えて坂を登って教会に通う信徒たちをみて、二俣川周辺に教会建設を考えられたことから始まりました。そして、2015年（平成27年）2月には献堂50周年を迎えました。【詳しくは、教会HPや教会パンフレット参照】

それからはや9年が経ち、来年2025年には、私たちは献堂60周年を迎えることとなります。50周年時のあの盛大なお祝い行事に参加され、それを懐かしく思い出しておられる方も多いことと思います。神様の見守りの下、司祭の導きや信徒の方々のたくさんの祈りに支えられて、私たちは歩み続けていくことができました。

広報では少し視点を変えて、教会を実務で支え続けている教会委員会の中心である教会委員長として、これまで奉仕して下さった数名の方々に、下記のようなことをお聞きすることで、近年の二俣川教会の歩みを振り返ることができればと考えました。

- ① 教会委員長を務めていらした時期とその頃の印象深い出来事
- ② 委員長を務めるにあたり、いちばん大切にしておられたこと
- ③ 周りの人にかけて嬉しかった言葉など
- ④ 60周年を迎える二俣川教会へ「ひとこと」

「60周年企画」は全4回のシリーズ企画として準備しています。

- ・第2回 教えて！二俣川教会近代史 ～歴代委員長へのインタビュー～
- ・第3回 意外と知らない!? 現聖堂の建物のコト ～教会の椅子を作ってくださった方～
- ・第4回 さあ、未来へ！～今を生きる教会～



初代聖堂の前にたたずむ
ドバール神父様



旧聖堂



現聖堂建設中の様子



2015年の献堂50周年の記念ミサと聖母子像の祝別式

広報委員会



2024年9月 (9月8日開催)

【検討事項】

1. 電話設備更新とインターネット環境整備
電話設備を設置してから10年近く経ったので、近々、修理部品が手に入らなくなりま
す。その為、設備の更新を建物管理委員会
で検討することになりました。また、この
更新にあわせて建物内のインターネット環
境も整備する予定です。
2. 2024年バザー 今年のバザーは、良きマ
リア人のたとえでイエス様が言われた『行
って、あなたも同じようにしなさい。ルカ
10:37』という御言葉の実践を目指して、
10/27にフード主体のバザー、12/1にはチ
ャリティーショップ(古着や献品)主体のク
リスマス・イベントを行うことにしまし
た。詳細は「今週のお知らせ」などで随時
お知らせしてまいります。“教会のバザーを
準備する皆さん”と“参加する皆さん”とい
うイメージを変えてまいりましょう。各売店
や企画の準備段階から多くの方に加わっ
て頂き、みんなで少しずつ仕事や役割を分
担していきたいと思えます。みんな主催者
でありながらお客様でもある、というバザ
ーが目標です。これは新しい試みなので、イ
ベントとしての完成度は充分ではないかも
知れませんが、しかし、イエス様は小さな
力を出し合い『行って、同じようにしよ
うとする人たち』をお望みになっていると思

ます。皆さんの自発的、積極的なご協力
をお待ちしています。

【各会報告】

1. 典礼委員会

- ・10/3 (木) 19時からベネディクション
(聖体賛美式)を行います。
- ・10/6 (日) 10時ミサの中で水の祝別を行
います
- ・10/1から10/31まですべてのミサの10
分前にロザリオの祈り1連を行います。

2. 教会学校

- ・9/15 敬老の集いで歌のプレゼントを行
います。
- ・11/17 七五三の祝いに向けて10月に入
たら申込を開始します。
- ・バザーでクリスマスに飾る「ランタン作
りコーナー」「オーナメント作りコー
ナー」を企画します。
- ・12/22 クリスマス聖劇を実施する予
定です。
- ・12月の教会学校は毎週開く予定です。

3. キリスト教講座

- ・新信徒のためのフォローアップ講座は
終了しました。
- ・入門講座やフォローアップ講座以外に
新しい講座を検討中です。

4. 財務委員会

トルコ震災募金について報告しました。

5. 広報委員会

献堂 60 周年(2025 年)の記念企画を検討しています。

6. 福祉委員会

クリスマスに横浜療育医療センターを訪問する予定です。マリア会、青年会に協力をお願いしていますが、今年はそれに加えて一般信徒にも声掛けするつもりです。

7. 建物管理委員会

電話更新とインターネット環境整備の打合せを行う予定です。

8. 共同墓地委員会

- ・ 9/15 に共同墓地利用申込者に対する説明会を行います。
- ・ 11/4 (月) に上大岡共同墓地で合同追悼ミサと納骨式を予定しています。ご遺族にはお知らせを郵送する予定です。

9. ヨゼフ会

- ・ 9/1 に定例会を実施しました。次回は 10/13 の予定です。
- ・ 敬老の集いでコーヒーのサービスを行います。9/29 のコーヒー光は中止します。
- ・ 12/28 夜か 12/29 ミサ後に集会室で忘年会を開催する予定です。
- ・ 名札を作り直すように教会委員会に提案しました。

10. マリア会

- ・ 報告
マリア会運営委員会 8/26
パーティー係 「敬老の集い」 打合せ 8/24
アンナ会 8 月は活動なし。
ステラマリス帽子を編む会 8/22 活動

ボリビア支援グループ 8/18「のんびり日曜日」実施

- ・ 予定
パーティー係 「敬老の集い」 前日準備 9/14、当日活動 9/15
アンナ会 9/9、9/30 活動
ステラマリス帽子を編む会 9/20、9/26 活動
ボリビア支援グループ 9/8「のんびり日曜日」実施
- ・ 今後、「のんびり日曜日」をジャム以外のその場で食べる食べ物を販売する予定です。また、雨天時など屋外実施が困難なときはロビーで行います。

11. 青年会

8/17 に二俣川教会で中高生夏合宿を実施しました。二俣川、保土ヶ谷、末吉町、港南、山手から 17 名が参加しました。一日目は分かち合いでお互いの理解を深めました。二日目は茅ヶ崎教会で聖堂の歴史や構造を学び、その後、海遊びを行いました。企画への参加費を支援してくださった皆様、送迎や料理の手伝いをしてくださった方々、ありがとうございました。

12. インターファミリー

9/29「世界難民移住移動者の日」にアルペ難民センターの講演会と懇親会を行います。第三地区の青年にも参加を呼び掛ける予定です。その準備を行なっています。

13. 一粒会

日本カトリック神学院で 11/23 に行われるザビエル祭への参加方法を検討しています。

以上



皆で祈りましょう

10月はロザリオの月です。

ロザリオの祈りは、人類を救われるイエス・キリストのそばで尽くしておられる聖母マリアに心を合わせて祈ることです。その神の御母にどのように向かったら良いのか、どうぞ私の心を清いものにしてください。

神の御母 (グランメゾン師)

神の御母、聖マリアよ、幼子の心を保たせてください。
泉のように清く澄みとおった心、
寂しさにもくじけぬ心、惜しげもなく自分を与えてほほ笑む心、
同情に満ちたやさしい心、憎むことなく思いやりのある心
誠実で寛やかな心、愛を惜しまず同情を求めない心、
柔和にして謙遜な心を……、
御子イエスの栄光のために、すべてを快くゆるる心、
忘恩冷淡にも気落ちせず、大らかで強い心、
イエスの愛に燃え、その愛に乾く心、
永遠の天国を仰ぎ慕う心を、
御母よ、わたしに与えてください。

(「カトリック祈祷書 祈りの友 (改訂新版)」 より)



ホッとトピックス

今年の春、日本へ再来日された、二俣川教会の元主任司祭で現在は小田原教会で司牧されているペトロ李廷胤^{いちんゆん}神父様に「日本再宣教にあたって」というテーマで、メッセージをお願いしました。再宣教への感謝の気持ちが溢れます。そしてコロナ禍での経験を思い起こさせてくださるメッセージにも感謝致します。私たちが共に歩む心を新たに、李神父様のためにお祈りいたしましょう。

『私の喜び』

今年から再び日本に戻ってきて、小田原教会で司牧しているイ・チョンユン神父です。皆さんの祈りのお陰様で健康に過ごしています。

何よりもふるさとのような横浜教区で、再び司牧する機会を得たことは神の導きだと思います。足りない私をここに導いてくださり皆さんと一緒に生活するようと、神の特別な配慮と恵みがなければ成し遂げられない特別な召し出しだと思います。すべてが思い出の中で、夢みtainな生活だからです。

韓国でもコロナによってミサが中止されたとき、どれほど多くの信者が聖体の秘跡を切望するのかが分かりました。すべてのミサを中継しましたし、教会の中で新しい福音宣教の方法がどれほど重要かを知りました。聖体拝領と赦しの秘跡をするために町の公園で地域別に集まったり、放送ミサをしてから聖堂に行き、聖体を頂いてからしばらく祈る時間をもったりしました。あり得ない状態の中で皆が自分の信仰を守り続けた、素晴らしい経験でした。

また日本に戻ってきた今も、毎日ミサを希望している信者の姿を見ながらとても嬉しく、神の御言葉によって毎日の糧を得て、霊的な力になるという信者の話を聞いて感動しました。神の御手がいつも私たちを導き、病気の弱い体を通して、神の栄光を表わす全知全能の力を見出すことができました。



これからもこの小さな教会で神の栄光が現れることを祈ります。そして私たちは小さくて弱いものですが、その自分の弱さを通して働く聖霊の力を信じて生きていきたいと思います。主の祝福が二俣川教会、そして皆さんの家庭に共にありますようにお祈りいたします。

小田原城から見た小田原の町

カトリック小田原教会



9月15日『敬老のお祝い』ご報告

本年も77歳以上の方をお祝いの対象とし、共に敬老のお祝いのミサを捧げる事ができました。対象の方は332名。当日の参加は70名以上で、特に喜寿(77歳)8名、米寿(88歳)5名※1の方々には按手と教会からの贈り物を贈呈させて頂き、米寿の方々にはご挨拶を頂きました。幼少期に戦争を経験され、導きをもって今に至るお話を頂き、年を重ねることの恵みを感じられる日となりました。 ※1=二俣川教会の今年の喜寿対象者は35名、米寿対象者は20名です。

なお、最高齢100歳になられたクララ A. A. 様は「敬老のお祝い」にはご参加いただけませんでしたが、後日教会からお祝いをさせていただきました。

プログラムは教会委員長のお祝いの挨拶。そして、教会学校の子供たちと青年による心温まる歌のプレゼント。イタリアで声楽家をされている谷垣尚子さんのヴィヴァルディの栄光の賛歌より「Domine Deus(ドミネ デウス)」は圧巻でした。ご参加された方々の心に沁み渡り、共に賛美する美しいひとときとなった事でしょう。

そして、集まった全員で「ふるさと」の合唱。お祝いの方から子供たちまで、この二俣川教会共同体が集う、ここがまた「ふるさと」であると感じられました。二俣川教会が第二のふるさととなったナン助祭からのビデオメッセージ、姜神父からのお祝いの挨拶を頂き、今年のお祝いも和やかなひと時となりました。

ミサ後は2階集会室にて、懇親会を企画。久方ぶりにお会いする方々も多く、形式ばった企画は無しで、皆様へ歓談の機会を提供させて頂きました。ひとりひとりにお配りした軽食はパーティー係が腕によりをかけてご準備くださり、若者、壮年のコーヒー、紅茶のサービスとともに、うれしい再会の時間を楽しんでいただけたものと思います。

あらためて、二俣川教会共同体の歴史を重ね、積み上げて頂いた先輩方に感謝いたしますとともに、これからもご壮健であることをお祈り申し上げます。また、本会の準備、運営にご協力くださった皆様にも感謝を申し上げます。ありがとうございました。

教会委員会







ふれあいバザー

～『行って、あなたも同じようにしなさい。』～ ルカ 10・37

《第1回》10月27日(日)

11時～14時

フード企画、聖堂企画、こども企画 etc…

《第2回》12月1日(日)

11時～14時

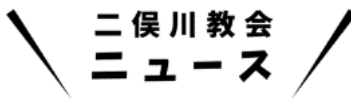
チャリティーショップ(献品&古着)、手芸品
クリスマス聖堂企画、茶菓コーナー etc…

※準備の進捗によっては内容変更の可能性がございます。ご承知おきください。

★ボランティア募集★

それぞれの売店や企画、当日の各種お手伝いについて、一緒に準備を進めてくださるボランティアを募集しています！それぞれ可能な関わり方で構いませんので、小さな力を合わせてみんなで準備しませんか？募集内容は事前の企画からのもの、当日のみ等、色々ありますので、詳しくはロビーのポスターをご覧ください。お手伝いいただける方は、ロビーのポスターにお名前と地区をご記入ください。バザーの目的は、福祉団体のための年末福祉献金を集めることです。準備のプロセスの中では教会的な交わりを大切に、当日は来訪者の皆さんにその実りを披露できる日となりますように。協力してくださる皆さんとアイデアを出し合い一緒に準備を進めて参りたいと思います。ご協力をお願い致します。

バザー準備委員会



ニ俣川教会
ニュース

- 9月29日(日)「世界難民移住移動者の日」に、インターファミリー主催の講演会が行われました。講師はアルペなんみんセンターの理事、有川憲治さん。講演後には国際色豊かな食事を囲んで、楽しく交流を深めました。当日の様子や感想等は次号に掲載予定です。
- 10月はロザリオの月です。10月中のすべてのミサの10分前にロザリオの祈り1連を行います。
- 今年も11月23日(土)、東京にある日本カトリック神学院で、『ザビエル祭』が行われます。テーマは「すべての人を一つにしてください」(ヨハネ 17・21)。ナン助祭在学中、最後のザビエル祭となりますので、ぜひ参加致しましょう。次号詳細を掲載いたします。

敬老の日のお祝いの対象の皆様、この度はおめでとうございます！いつも人生の先輩として素晴らしい模範を示し、温かくお見守りくださいますこと、改めて感謝いたします。さらなるご健康とご活躍を心からお祈りいたしております。

9月15日の「敬老のお祝い」に、パーティー係では、お祝いらしく華やかな色とりどりの六種類のサンドイッチ（たまご・ポテトサラダ・サーモンときゅうり・ブルーベリージャム・ハムチーズ・ツナオニオン）を準備させていただきました。よりおいしく召し上がっていただくために、お一人ずつお包みしました。更に、小さなカップに入った一口サイズの涼やかな水ようかんフルーツ添えや、ポテトチップスを乗せたお祝いプレートでした。



共に華やぎを作ってくださった方々、前日から会場セッティングをしてくださり、当日はコーヒーのサービスをして下さったヨゼフ会の方々、教会委員会の皆様方、配膳と飲物をサービスして下さいました。ありがとうございます。

お祝いのセレモニーが終わり、二階集会室は晴れやかな笑顔でいっぱいでした。思えば苦しいコロナの時代がありました。集ったり、会話したり、食事したり…そんな当たり前の生活の喜びが、やっと控えめに実現しました。



私たち二俣川共同体には様々な世代の方々が集いますが、これからも年齢を越えて交わり合い、慈しみ合い、互いを尊敬しあう雰囲気の中を過ごせまうように。大きな、温かい家族でありますように。マリア会の活動がその一助となりますよう、願っています。

マリア会 K. R.

「編集後記」

最近、広報委員会の定例会の初めと終わりに用いているお祈りをご紹介します。会議でも勉強会でも、毎回のこのお祈りによって神様のみ旨をはかることの大切さと、私たちの働きの意味を思い起こすことが出来、とても意味深いと感じています。（Y.O.記）

～初めの祈り～

すべてを造り治められる神よ、いつくしみ深いみ手のなかで始めるこの集いを祝福し、み旨を行うことができるよう、わたしたちに知恵と勇気を授け、導いてください。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

～終わりの祈り～

恵みの源である神よ、感謝と賛美のうちにこの集いを終わります。わたしたちの働きの実りが、神の国に役立つものとなりますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。